

該当番号	意見の要旨	回答	関連部署	議事録該当箇所
1	<p>町会に加入したいと思い、該当の町会を調べて問い合わせたが、連絡がなかった。町会との関わりが薄れている現在において、積極的に加入したい人もいと伝えたい。</p> <p>一方、昔ながらの掲示板や回覧板というやり方を続けていては、SNSやインターネット上でつながっている人には届かないと思う。今は、興味がある人は、SNSを見れば町会でまともな情報も取れる時代になっている。人のつながりも、同じような使命を持っていたり、地域活性化したい人は、もう立ち上げてやっている。そのような中で、町会の加入率を上げたいという目標はどうかというくらい、世の中は変わっているのではないか。どのような状況になっているか把握しているのか。</p>	<p>【地域活動推進課】</p> <p>区では、全町会・自治会実態調査や住民意識調査等により、地域を取り巻く環境変化の把握に努めています。また、ご指摘のとおり、SNSやインターネットの普及により、人と人とのつながり方は多様化しています。区においてもSNSで町会・自治会情報を発信できるよう講座等を実施しているところですが、一方で、掲示板や回覧板による情報発信やそこから生まれる顔の見えるつながりなども地域コミュニティの形成において重要な役割を担っていると考えています。</p> <p>いずれにしましても、町会・自治会に携わっていただける方は地域にとって貴重な人材です。区からも町会・自治会に対し、加入希望者の積極的な受入について啓発を行っていきます。</p>	地域活動推進課	1ページ 3ページ 区民B
2	<p>墨田区でのいい意味でのおせっかいというのは重々承知しているが、顔を知っているからといって、ちょっと踏み込み過ぎるような話をされる。それは年上の方に多く見られる気がするが、自分たち若い世代もどう返していいかわからず、余計に壁が出来ている気がする。お互い歩み寄りしたいし、助けてもらいたいと思っているので、子ども食堂のような、上の世代の人と関われる場があればいいと思う。</p>	<p>子ども食堂（下記参照）のほか、地域福祉プラットフォーム（該当番号13及び14参照）等、多世代の方と交流できる場がありますので、ぜひご利用ください。</p> <p>【生活福祉課】</p> <p>区内食事提供活動団体一覧（すみだ食で繋がるネットワーク連絡会参加団体一覧）を提供します。 ※別紙参照</p>	(生活福祉課) (厚生課)	1,2ページ 区民C
3	<p>私の町内では、高齢者と年少者の比率が少なく、生産人口ばかりが増えているという状況。単身世帯の増加が町会加入にブレーキをかけているのではないかと問題提起されているが、解決に向けたアクションはこれからと聞いている。</p> <p>町会加入のきっかけがないことについては、SDGsを活用した町内コミュニケーションを提案したい。すでに町内では資源回収や、防災防火のまちづくりなどが行われており、これが自然とSDGsに結びついていると考えている。墨田区では、SDGs未来都市、並びに自治体SDGsモデル事業に選出されて、SDGsでは先進的な街というイメージがあると思う。そのノウハウを生かして、町内のコミュニティ活動に結びつけてほしい。</p>	<p>【地域活動推進課】</p> <p>ご指摘のとおり、町会・自治会をはじめとした地域の皆様の活動はすでにSDGsの一端を担っているものと考えています。SDGsの取組を町会等への加入促進や地域コミュニティの形成につなげていくには、このような認識を地域の中に浸透させていく必要があります。区においても今後SDGsの視点を積極的に取り入れながら、施策を展開していくこととしています。将来的な地域の発展に向け、ぜひ町会・自治会の皆様とも連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えています。</p>	地域活動推進課	2ページ 区民D
4	<p>会社を立ち上げる時の墨田区の課題について。墨田区でITの会社を起業しようとする、他の区と比べて支援が少ないと思う。例えば、ものづくりの会社に対する支援の施設等はたくさんあるが、ITとなるとなかなか入りづらい。ものづくり以外の会社でも、墨田区で起業しやすい環境をつくるということは、ものづくり以外の幅を広げていくという意味で大切なのではないかと。</p>	<p>【経営支援課】</p> <p>区では、国の認定を受けた創業支援等事業計画に基づき、民間企業や金融機関等の創業支援機関と連携した創業支援を展開しています。創業支援機関には、シェアオフィスやコ・ワーキングスペースといった施設があります。また、すみだビジネスサポートセンターでは、創業後もビジネス相談を受け付け事業継続の支援を行っています。今後も産業のまちであり続けるために創業支援を実施していきます。</p>	経営支援課	3ページ 区民E
5	<p>つながりの課題について。墨田区でいろいろといい活動をしている方が発信できるような、区として公認のサイトみたいなものがあつたらいいと思う。</p>	<p>【広報広聴担当】</p> <p>区では、すみだの魅力発信サイト「SUKI SUMI」を開発しており、その中で、区民の方々がすみだの魅力や団体の活動紹介、イベント告知といった情報を自由に投稿できる掲示板を設けています。</p>	広報広聴担当	3ページ 区民E

6	<p>私は仕事柄、高齢者や障害者の方と接している。健常者、元気のある方は、自らいろいろなつながりに行くことができるが、こういった方はできない。こういった方にどう対応していくかということが非常に大切だと思う。SNSも厳しいので、パソコンやスマホの無料教室を開催したり、民間のボランティアを活用し、民間と行政がタイアップしていくことが非常に大切。また、地震があったときに、一人暮らしの高齢者に電話で安否確認をしたが、このような取り組みも大切だと思う。</p>	<p>【高齢者福祉課】 今年度、高齢者向けのスマートフォン講習会を開催しています。今年度末までに複数回実施予定なので、積極的に周知し、一人でも多くの高齢者がPCやスマートフォンを通じ「つながれるよう」支援します。</p> <p>【障害者福祉課】 障害のある方に対し、パソコン教室を開催しています。パソコン等デジタル機器を活用し、様々な機会が作れるように区としても支援していきます。</p> <p>【防災課】 避難行動等に不安のある高齢者や障害者等の把握や助け合いが可能となるような「住民どうしの助け合いシステム」として、各町会・自治会に要配慮者サポート隊の編成を推進し、地域における支援活動を進めています。いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	<p>障害者福祉課 高齢者福祉課 防災課</p>	<p>3,4ページ 区民F</p>
7	<p>自分のマンションで理事長をやっており、町会にも所属している。町会のメンバーは高齢の方、時間がある方が多いが、構成について、もっと若い世代を取り込むように変えていく仕組みを考えてもいいと思った。</p>	<p>【地域活動推進課】 近年、町会・自治会では高齢化が進み、加入率の低下や役員の担い手不足などが大きな課題となっています。区では、ファミリー世帯の居住者が多い集合住宅の加入促進を強化するとともに、町会・自治会活動を幅広い世代に向けて情報発信できるようSNSの活用講座なども実施しています。今後とも若年層の加入促進支援に努めてまいります。</p>	<p>地域活動推進課</p>	<p>4ページ 区民G</p>
8	<p>タウンミーティングに来るのは積極的な人たちで、そういう人の意見を取り込めるとは思うが、関心が薄い方にも興味を持ってもらえるような取組みも必要じゃないかと感じた。</p>	<p>【地域活動推進課】 タウンミーティング等の情報について、調べれば出てくるのではなく、自然と目に入ってくる状態を目指して、発信方法を工夫していきます。</p>	<p>地域活動推進課</p>	<p>4ページ 区民G</p>
9	<p>新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏会について、区民割引があることがすごい。また、フランチャイズにしたこと、墨田区ぐらいの、中くらいの規模の区で、クラシック専用のホールを建てたこともすごいことだと思う。これ以降も、文化芸術の支援をぜひ続けていただきたい。</p>	<p>【文化芸術振興課】 現在、ホールでは墨田区文化振興財団主催公演等に対し、区内在住・在勤・在学の皆さんに対する「すみだ区割」と「すみだ学割」を実施しています。また、ホールで実施しているアンケートにおいても、施設に対して高い評価をいただいていますので、今後も、多くの区民の皆さんに音楽等の質の高い文化芸術を気軽に楽しんでもらう機会を作っていくとともに、ホールの魅力を広くPRしていきます。</p>	<p>文化芸術振興課</p>	<p>5ページ 区民H</p>
10	<p>墨田区はSDGsのモデル地区なので、小学校で話をすると、内容がわからない子が多く、そもそもSDGsと言えない子も多い。歌にした方がわかりやすく、みなさんにSDGsと言ってもらえるのではないかと思います。「クモに学ぼうSDGsいきるちえ」という歌を作った。</p>	<p>【指導室】 「クモの歌」でSDGsの啓発を図ることは大変有意義なことだと思います。取組みを応援しております。 学校教育でもSDGsに取り組んでいくことは重要と考え、普及啓発に積極的に取り組んでいきます。具体策としては、小・中学校の学習内容とSDGsの目標の関連を示した資料を作成し、学校に送付します。学んだことがSDGsのどの目標の達成につながるのかを考えさせることで、SDGs達成への意識を高めていきます。</p>	<p>指導室</p>	<p>5,6ページ 区民I</p>
11	<p>忙しい働き世代が、そもそもコミュニティをつくられていないことが課題だと思う。墨田区らしいつながりは、伝統的なイメージが強いが、どちらかというと、この墨田区で生まれつつある新しいすみだをもっと取り上げてほしい。例えば、墨田区でアプリコンテストをやれば、若い世代が目立つ場所が増えると思う。そういう場所をたくさん増やしていくことによって、どんどん若い世代が集まって、コミュニティが生まれていくと思うので、区にはそういった取組みを多くしてもらいたい。</p>	<p>【産業振興課】 本区の人口は計画を上回るペースで増えており、若い世代の増加も目立っています。そうした方の多くは、区外で働いており自分が暮らしている地域への関心が高いとは言えないのではないかと考えています。こうした人たちに地域への関心を寄せてもらえるような仕掛けは必要ですが、特に、働く場としての墨田区の魅力を掘り起こし、区内で多くの若者に働いてもらえるよう、産業振興面からも取り組んでいきます。</p>	<p>産業振興課</p>	<p>6ページ 区民J</p>

12	<p>タウンミーティング等の情報は、自分から調べたら出てくるが、大学生である私も友達も、InstagramやTwitterで情報を仕入れることがほとんどなので、若い世代にはあまり回ってきていないと感じる。</p>	<p>【広報広聴担当】 区では、InstagramやTwitter、FacebookなどのSNSのほか、YouTubeやホームページなど多様な媒体を活用して、情報発信を行っています。特にSNSに関しては、職員を対象に研修を行い、効果的な発信となるよう努めているところです。若い世代の方にも幅広く情報が伝わるよう、今後も発信内容や手法等を工夫していきます。</p> <p>【地域活動推進課】 FacebookやTwitterでの発信に加え、動画による告知など様々な手段を試しているところですが、より若い世代に届くような広報ができるよう取り組んでいきます。</p>	<p>広報広聴担当 地域活動推進課</p>	<p>6,7ページ 区民K</p>
13	<p>タウンミーティングに参加するのちょっと緊張しているが、すでにあるコミュニティに入っていくこと、一歩踏み出す勇気を出すことはなかなか難しい。そのため、外部の人とすでにあるコミュニティが簡単につながっていけるような取組みやイベントがあれば、もっと広く、いろいろな方とつながれるのかなと思う。</p>	<p>【地域活動推進課】 オンライン開催については気軽に参加しやすいとお声をいただいておりますが、会場においても初めての方が参加しやすくなるよう、運営方法等を工夫していきます。</p> <p>【厚生課】 どなたでも気軽に集い、世代間交流のできる地域の居場所であるとともに、地域における様々な困りごとの相談にも応じる「交流と相談の場」である「地域福祉プラットフォーム」を設置しています。季節の行事や小さなイベントなどを実施することもあります。社会福祉協議会の職員が常駐していますので、お一人でも気軽にお立ち寄りください。現在、区内3カ所（京島、本所、八広）に設置し、週に2回開催しています。※祝日及び年末年始はお休み 京島：毎週火・木曜日 11:00～16:00 京島3-49-18 本所：毎週月・水曜日 11:00～16:00 (第三月曜日休み) 本所1-13-4 本所地域プラザ内 八広：毎週火・木曜日 11:00～16:00 八広5-18-23 八広はなみずき高齢者支援総合センター内</p>	<p>地域活動推進課 厚生課</p>	<p>6,7ページ 区民K</p>
14	<p>情報弱者と言われる高齢者や外国人の方々が気軽に相談できる場所がほしいと思っているので、今後まちかどコンシェルジュのようなものをどうつくっていくかを考えたい。また、先ほど、団体とまちづくりに関し、どう関わっていったらいいかという意見が多かったと思うが、そういうパイプをどのようにつくっていくかも、今後の課題にしたい。</p>	<p>【厚生課】 「地域福祉プラットフォーム」は小さなお子さんから高齢の方まで、どなたでも気軽に集い、世代間交流のできる地域の居場所であるとともに、地域における様々な困りごとの相談にも応じる「交流と相談の場」です。 ※開催場所と日時は該当番号13をご参照ください。</p>	<p>厚生課</p>	<p>7ページ 区民L</p>
15	<p>スカイツリーは観光地になってきているが、すべてソラマチタウンで閉じてしまっている。観光客も、最近はミズマチができたので、浅草とスカイツリーをつなぐところは活性化してきているが、スカイツリーの東側、四つ目通りのところは商店街が活性化してなくて、今どんどん土地を手放している人がいる。何とかスカイツリーをもっと有効活用して、街の活性化をしていくことが課題である。そして、区や自治体が主導で、こういうまちづくりをしようじゃないかと、そこに助成金、補助金等を出してもらって、例えば商店を江戸時代風の建物にするとか、そういうこともやっていくといいのかなと思う。</p>	<p>【産業振興課】 ソラマチへの来訪者が地域に染み出すしくみづくりは商業振興の観点においても大きな課題の一つとして認識しています。東側においても東武鉄道立体化に伴うまちづくりを進めていますが、新たにできる商業施設と地域の商店が連携・協働できるような環境を整備していきたいです。</p>	<p>産業振興課</p>	<p>7ページ 区民M</p>
16	<p>墨田区の子ども会は、23区の中で一番活発に活動していると思う。そのようなところで育った子どもたちが、大人になったときに地域活動に参加していく上では、子ども会の活動はすごく大切だと思う。しかし、今、コロナの状況で、もう1年8ヶ月、ほとんど子ども会の活動がない状況にある。この後コロナが収まれば徐々に復活していくのかなとは思いますが、子ども会が復活していく中で、子ども会が前と同じ、それ以上の活動ができるように、行政からも支援をいただきたい。</p>	<p>【地域教育支援課】 区では、少子化による子ども会の小規模化や育成者不足を補い、子ども会の活性化を図るため、「子ども会活性化事業実行委員会」を支援するとともに、区内在住の中学・高校生を対象に、子ども会をより楽しくするためのプログラム立案やゲーム、レクリエーション指導をするお兄さん・お姉さん役として活躍できる人材の育成を、墨田区少年団体連合会と共催で実施しています。 今後も、区内の子ども会が活発に活動できるよう、これらの事業を通じて支援してまいります。</p>	<p>地域教育支援課</p>	<p>8ページ 区民N</p>

17	<p>墨田区には、発信も、情報も、イベントも、すでに幅広くあって、それを受け取れずにいる人がいると思ったので、一つのものに特化して発信し続けるのはどうか。例えば、イベントに特化して発信し続ける、子どものいるママさんに必要な情報のみを発信し続ける等。墨田区のいいところを発信し続けるのではなくて、わかりやすく一つひとつ、テーマ、コンセプトを作って発信し続けると、つながりたい人、届けたい人に伝わりやすいのではないかと思う。</p>	<p>【広報広聴担当】 同様の取り組みとして、区では昨年12月に危機管理対象の発信に特化した「墨田区危機管理ツイッター」を開設し、これまでの区公式ツイッターとの差別化を図り、運用しています。その他にも、例えば、「すみだ地域ブランド戦略」や、子育て世帯を対象に、必要な子育て支援情報をプッシュ型通知でお知らせする「子育てアプリ」など、各事業ごとにホームページやアプリ、SNSのアカウントを保持して発信しているものもあります。今後も、必要な情報を必要な人に届けられるよう、情報発信に努めていきます。</p>	<p>広報広聴担当 (産業振興課) (子育て支援課)</p>	<p>8ページ 区民O</p>
18	<p>タウンミーティングという、自分がまちづくりに参加できる場があることがすごいと思う。しかし、このタウンミーティングも、勇気を持ってくる場所になってしまっている節があると思う。箱があって紙を入れるのでも、オンラインでもいいので、気軽に意見を出せる場所があるといい。</p>	<p>【地域活動推進課】 タウンミーティングは、区民の方が企画・運営を担い、動画にて情報発信をするなどの取り組みもしていますが、より身近で気軽に参加できる場となるよう、運営や広報等を工夫していきます。</p> <p>【広報広聴担当】 区政に対する意見・要望などを広く求めるため、「区長への手紙」として、投函用のはがきを区立施設等に常備しています。また、電話やホームページ等でも区政に対する意見・要望を受け付けています。</p>	<p>広報広聴担当 地域活動推進課</p>	<p>9ページ 区民P</p>
19	<p>SDGsに関連し、子どもの貧困について。すごく社会的に大きな課題で、もちろん墨田区としても取り組んでいるところであると思うが、さらにみんなで考える時があるといいと思う。</p>	<p>【生活福祉課】 平成30年に策定した「墨田区子どもの未来応援取組方針」に基づいて、各対策事業を計画的に推進し、子どもの未来を応援しています。 将来を担う子どもが、健やかに成長するよう、必要な環境整備を図り、オールすみだで子どもの笑顔があふれるまちをめざしていきます。</p>	<p>生活福祉課</p>	<p>9ページ 区民P</p>
20	<p>多様性を大切にする墨田区だからこそ、同性パートナーシップを検討いただきたい。</p>	<p>【人権同和・男女共同参画課】 パートナーシップ制度導入のための検討については、今年度から、庁内の職員による実務者レベルのワーキンググループを立上げて具体的な議論を始めています。今後は、都の動向を見ながら、制度のあり方を検討していく予定です。</p>	<p>人権同和・ 男女共同参画課</p>	<p>9ページ 区民P</p>
21	<p>区役所1階の情報コーナーにはたくさんチラシが置いてあるが、参加費がかかるイベントだと、公共機関、図書館やコミュニティセンター等、チラシを無条件で置いてくれるところがとても少ないので、置けるようにしてほしい。</p>	<p>【広報広聴担当】 区役所1階の区民情報コーナーでは、区が主催・後援・共催等しているイベントのチラシ・パンフレット等に関係各課からの依頼に基づき配架しています。</p> <p>【地域活動推進課】 区関係機関・区の主管課から依頼のあった公共・公益事業に係るチラシ等を配架しています。また、施設の設置目的に適合したものであれば、営利目的ではなく実費程度の参加費のかかるイベントに係るチラシ等についても、個別に判断し配架できる場合もあります。</p> <p>【ひきふね図書館】 有料のものにつきましては、営利目的でなく、実費程度であれば、スペースに余裕がある場合、配架できる場合もございますので、個別にご相談ください。</p>	<p>広報広聴担当 地域活動推進課 ひきふね図書館</p>	<p>9ページ 区民Q</p>

事前アンケートの回答から抜粋

①	<p>両国子育て広場にお世話になっている。子育てママさんの憩いの場なので、このような場所が沢山あるといいなと思う。 また、未就学児だとお友達がなかなかできないので、オンラインでのお友達づくりが出来る場所が欲しい。</p>	<p>【子育て支援総合センター】 子育てひろばは現在予約制のため、気軽に遊びに来られない方なども参加できるよう、今後はオンラインを使ったイベントについても検討・実施していきたいとします。</p>	子育て支援総合センター	—
②	<p>台東区のように、商店街を巻き込んだイベントなどがあると年齢問わず地域のコミュニティができて安心安全な地域作りにつながり、お店の繁栄にもなると思う。</p>	<p>【産業振興課】 墨田区の商店街も、それぞれ福引やセールなどの独自のイベントを行いつつ、例えばすみだまつりに参画し模擬店を出店したり、商店街連合会が企画するイベントに参加したりと努力をしています。是非まちゼミなど地域コミュニティの強化を図るイベントに参加していただきたいです。</p>	産業振興課	—
③	<p>錦糸町の駅の周辺には他国のお店が数多く出店している。そういう方々と一緒にイベントを開いて親交を深めるというのはいかがでしょうか。多様性が求められている現代で、まずお互いを理解し合う必要があると考える。その架け橋を行政が中心になってやって欲しいと思う。</p>	<p>【産業振興課】 錦糸町エリアの多国籍な商店の集積は、地域の文化の一つとなりつつあると認識しています。しかしながら、商業振興の観点からは、行政発で外国のお店のみが参加できるイベントを開催することは難しいです。商店街や商店街連合会が開催するイベントとして企画されるのであれば、支援することは可能であるため、積極的に協議していきます。</p>	産業振興課 観光課	—
④	<p>災害時に、近隣のお年寄りの避難のサポートをする方法などを広く知らせる必要がある。</p>	<p>【防災課】 避難行動等に不安のある高齢者や障害者の方を支援するため、「要配慮者サポート隊」という取組を進めています。要配慮者への支援方法については、各地域のサポート隊により異なるため、区の刊行物などでは、要配慮者サポート隊の制度のみを紹介しているところです。支援が必要な方と、支援に協力していただける方をつなぐことができるよう、引き続き、取組を進めていきます。この取組について、より幅広い年齢層の方々にお知らせできるよう、SNSやホームページ等の様々な手段を活用して、広く周知していきたいと考えます。</p>	防災課	—